2024年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
軟部組織損傷実技											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実技	時間数	30	単位	1
担当教員	加藤健太、青木伊之			実務 経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				
授業概要											
部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。											
到達目標											
軟部組織損傷について、身体各部位の軟部組織の解剖学的理解を基に、それぞれの部位の損傷の概説、損傷時に加わる力の特徴、損傷の程度、部位などによる分類、損傷の発生機序、鑑別や損傷程度を確認する徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて部位ごとに理解し実技ができるようになることを到達目標とする。											
授業方法											
プリントを用いる。1年次に学んだ軟部組織の基本的な構造と機能、軟部組織損傷の基本的知識を基に、身体各部位について軟部損傷の形式と特徴、好発、発生機序、特異的症狀、予後等について理解し、治療、固定について詳細に理解し実技が出来るよう、授業を進める。											
成績評価方法											
定期試験と課題による評価											
履修上の注意											
柔道整復師の業務内容そのものを学ぶので、身だしなみに注意を払い（KC着用、爪は綺麗に、装飾品は外すなど）、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	頭部、顔面部の軟部組織損傷実技										
第2回	胸部、背部の軟部組織損傷実技										
第3回	頸部の軟部組織損傷実技										

柔道整復科

軟部組織損傷実技

第4回	腰部の軟部組織損傷実技
第5回	肩部の軟部組織損傷実技
第6回	上腕部の軟部組織損傷実技
第7回	肘部の軟部組織損傷実技
第8回	前腕、手関節の軟部組織損傷実技
第9回	手部、手指部の軟部組織損傷実技
第10回	鼠径部、臀部の軟部組織損傷実技
第11回	股関節の軟部組織損傷実技
第12回	大腿部の軟部組織損傷実技
第13回	膝の軟部組織損傷実技
第14回	下腿の軟部組織損傷実技
第15回	足部、足指部の軟部組織損傷実技